

名 称	令和4年度 第2回社会教育委員会議
日 時	令和4年11月16日(水) 9時30分～10時25分
場 所	市民情報センター 3階 会議室
出席者	別紙名簿のとおり 委員12名(欠席6名) 事務局7名
内容及び 結果等	<p>1. 開会(金子課長)</p> <p>2. あいさつ</p> <p>■山本和子委員長</p> <p>早いもので今年度も上半期が過ぎ、この社会教育委員の会議も2回目です。皆様お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。</p> <p>先週、関東甲信越静社会教育大会の山梨大会が開催され、小太刀委員が分科会で事例発表を行いました。私と、県協議会長の斎藤副委員長も同行して活動してきましたので、後程発表したいと思います。</p> <p>さて、本日の会議では、上半期の公民館事業活動実績と下半期の活動計画について審議を行います。また、会議終了後には「かぬまかるた大会」の打ち合わせも行います。</p> <p>委員の皆様、忌憚のないご意見をいただきながら、さまざまな角度で議論して参りたいと考えております。皆様のご協力をお願いし、あいさつといたします。</p> <p>■中村教育長</p> <p>今年も早いもので、残すところあと1か月半ほどとなり、朝晩には寒さを感じるようになってまいりました。風邪など体調を崩しやすい季節でもありますので、皆様もご自愛いただきたいと思っております。</p> <p>10月には4年ぶりにかぬま生涯学習大学主催の「学びフェスティバル」が開催されました。今回は、「かぬまマイ・カレッジ」の参加は見合わせとなりましたが、国際交流協会主催の「かぬまワールドフェスティバル」と同会場で開催することで、約2,000人の来場者で賑わいました。久々に皆さんの発表の喜びと笑顔を見られたと思っております。</p> <p>また、先週には「関東甲信越静社会教育研究大会 山梨大会」が開催され、分科会で小太刀委員が事例発表を行われました。本日はそのお話も伺えるとのことで、楽しみにしております。</p> <p>しかし、コロナの感染状況は拡大の傾向にあります。先週にはインフルエンザによる学級閉鎖もあり、2つの感染症への警戒は予断を許さない状況です。9月に運動会を予定していた学校が11月に延期したり、11月に修学旅行したりしています。</p> <p>市民の皆様が安心して日常生活を再び送れるようになるには、まだ時間がかかることと思っております。委員の皆様におかれましては、感染症対策を行いつつも、可能な範囲で地域に根差した活動を継続していただき、一日も早く平穏な日常が取り戻せるよう、ご協力いただければ幸いに存じます。</p> <p>本日は、今年度上半期の公民館等の取り組み実績や下半期の計画についてご報告させていただきます。つきましては、委員の皆様のご忌憚のないご意見をいただきますよう、お願いいたします。</p>

3. 審議及び報告事項

(金子課長) 条例第6条第2項により、委員長に会議の議長をお願いします。

(山本委員長) 定めにより議長を務めます。

■報告事項 (1) 令和4年度上半期 公民館等の事業実績報告について … 資料1

(事務局) 資料1に沿って説明。放課後子ども教室では、コロナの中だが参加児童数は昨年より増えている。公民館事業全体として、昨年はコロナの影響で中止になっていた事業が今年は開催できたりしたものの、高齢者対象のものはできないものもあった。

(神山委員) 公民館によって活動の数にばらつきがある。コロナの影響でなかなか事業を行っていく3年だったと思う。また、私達社会教育委員もアドバイスを行うような活動を行うべきだと思っている。生涯学習課に各公民館からコロナ禍でどのような活動をするよいか相談はあったか、どうアドバイスしたか？

(事務局) 今年度は特になかった。コロナ初期の頃は「どうしたらいいのか、やっていいのか」という相談が多かった。緊急事態宣言が出ている間は自粛しようとしていた。その後は、対策をしながらできる限りのことをしてください、としていた。

(委員長) 活動の差については？

(事務局) 利用者が多く集まる主要な公民館では、活発な活動が多く実施されている印象。回数が少ない公民館でも、どんなことを講座にしたらよいか考えながら実施している。特に栗野地区では4つの公民館があり、個別に実施すると人が集まりにくいいため、合同で実施するなど工夫している。

(神山委員) 私の住む加蘇地区も小さく人数が少ない。栗野の共同開催は参考になる。

(斎藤副委員長) 菊沢地区の「子ども大学出前講座」のおこづかいゲーム。体験は重要。違う公民館でもやるといいなと思っている。良かったものは広く公民館にお勧めする、お知らせするようなシステムがあるとよい。

■審議事項 (2) 令和4年度下半期 公民館等の事業実施計画について … 資料2

(事務局) 資料2に沿って説明。

(斎藤副委員長) P15の「竹あかりの工作教室」の内容がおかしいのでは。

(事務局) 訂正する。竹を使ったワークショップである。

(矢口委員) 竹筒に穴を開けて灯籠のようなものを作るものである。

(石川委員) P3の「放課後子ども教室」4は10月までとなっているが、11月以降は？

(事務局) 確認して回答する。→ 先に授業が終わる低学年児童が、高学年児童の下校時間を待つ間、「放課後子ども教室」を実施している。11月からは下校時間が揃うため、実施の必要がなくなる。

■報告事項 (3) 関東甲信越社会教育研究大会 山梨大会の事例発表報告 … 資料3

(事務局) 資料に沿って説明。第2分科会で小太刀委員が発表を行った。また、山本委員長と、県会長でもある斎藤副委員長が同行して発表の支援を行った。来年度は栃木で開催される

<p>ため、齋藤会長はじめ県関係者がPRを行った。</p> <p>(齋藤副委員長) 全体会では、元ソフトボール女子日本代表監督の宇津木さんの講演があった。人とのつながりをとても大事にしており、「私は人や地域に育てられた」と言われていた。失敗したときには理由付けをして解決していくという。(その他シンポジウム等に関する所感)</p> <p>(小太刀委員) 資料3の内容を使って、主に家庭教育学級の中で、何かをやることで人と人がつながっていく、持続可能な組織づくりについて話をした。また、地域子育て支援としてハートフルクラブとポニーの活動を紹介した。</p> <p>(山本委員長) 分科会には90名ほどが参加し、質問も多かった。取組が継続的なこと、協働しているということで、誇らしく思った。鹿沼の生涯学習は30年の歴史がある。様々な分野がありネットワークが出来ていて、どこに行っても素晴らしいと言われる。しかしそれに甘んじることなく、世相に合わせて進化していかなければならない。山梨大会では、社会教育委員が誘導・受付・進行・片付けなど素晴らしい動きをしていた。私達も学習しなければ。</p>			
<p>■報告事項 (4) 関東甲信越静社会教育研究大会 栃木大会の開催について … 資料4 (事務局) 資料4に沿って説明。来年には栃木大会が開催される。スタッフ2名、参加者10名の参加が要請されている。11/25に次回の準備会が行われる。まだ一年先だが、詳細が決まってきたら改めて協力をお願いします。</p>			
<p>■審議事項 (5) その他 … なし</p>			
<p>6. その他</p> <p>(1) 栃木県社会教育委員協議会 研修会(12/21)について 資料5 (事務局) この研修会について出欠を確認している。よろしくをお願いします。</p> <p>(2) 冊子「社教情報 87号」の配布について (事務局) 定期定期に発行される冊子である。活動の参考にしていただきたい。</p>			
配布資料	次第、資料1～5、冊子「社教情報 87号」		
次回予定	未定		
記録者	生涯学習係 湯澤伸夫		
<p>鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)</p>			
公開・非公開の別	公開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数 0人